

楽しみ、挑み、かかわりながら、進んで運動をする児童の育成  
～体力向上を促す教科体育の指導の工夫と、教科外体育の仕掛けを通して～

# 研究だより

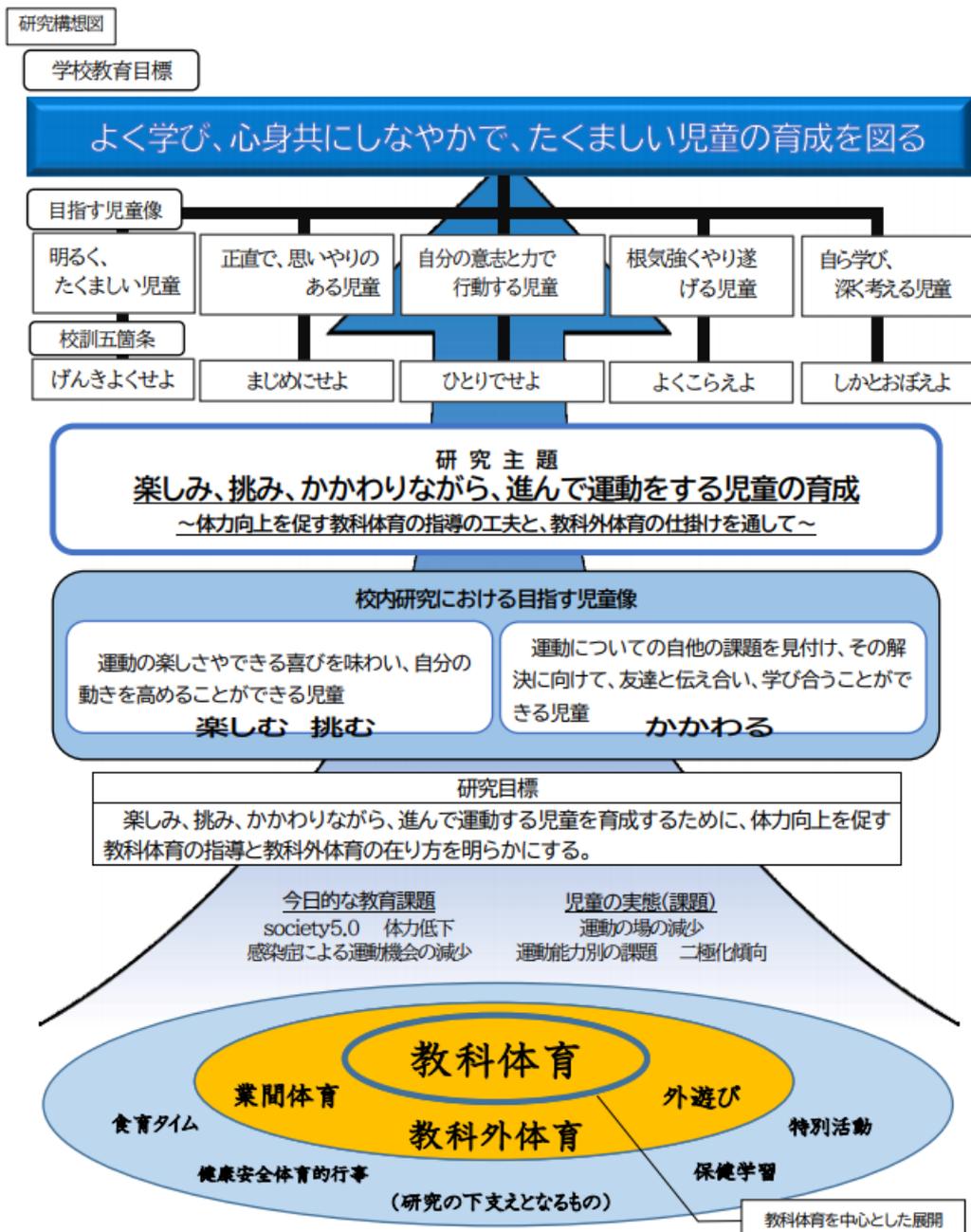
書:高橋真実

令和4年 7月20日(水)  
石巻市立石巻小学校  
校内研究だより No.1

本校では、昨年度までの3年間、「自己を見つめ共によりよく生きる児童の育成」を目指して、道徳科を中心に校内研究に取り組んできました。

今年度からは、体育の授業を中心に、「楽しみ、挑み、かかわりながら、進んで運動をする児童の育成」を新研究のテーマとし、校内研究に取り組んでいきます。

この研究を通して、3年目には、「運動を心から楽しみ、記録や技に挑戦し、友達とかかわりながら学び合い、高め合うような子供の姿」が多く見られる学校になるよう研究を進めていきます。また、子供の姿を通して授業を評価することで、私たちの授業力向上を図り、「楽しみ、挑み、かかわりながら、進んで運動をする子供」を育てていきます。



研究だよりでは、体育の授業を中心とした校内研究の取組について、お知らせしていきます。今回は6月16日に行った6年生の授業の様子を紹介します。

6年1組 授業者 阿部 辰朗 先生

単元名 「マット運動」

ねらい 側方倒立回転につながる技や側方倒立回転について、できるようにするためのコツを考え、自分の課題に応じた練習段階を選ぶことができるようにする。



「感覚づくりタイム」では「クマ歩き」「ワニ歩き」などを行い、側方倒立回転につながる体の動きを楽しく身に付けました。



「発見タイム」ではグループ毎に、個々の目標の技に挑戦しながら、互いにアドバイスをしたり、できるようにするためのコツを考えたりしました。



発見タイムでの気づきを、全体で確認しました。みんなができるようにするために「全身伸ばしてピン」「天井足伸ばし」など動き方のコツを合言葉にして共有しました。



後半のチャレンジタイムでは、共有した動き方のコツをもとに、具体的なアドバイスをしたり、補助具を使って体が伸びるように補助したりして、技の習得を目指しました。

今回は「マット運動」の単元で、側方倒立回転や、側方倒立回転につながる技のこつを考えました。

初めの「感覚づくりタイム」では、様々な動物の動きを模倣した歩き方で、腕で体を支える感覚に親しみました。また、体育館全体をサーキットに見立て、かえるの足打ちや川跳び越えなどの側方倒立回転につながる運動を設定したことで、子供たちは楽しみながら様々な動きを数多く経験することができました。

「発見タイム」では、グループ毎に互いの動きを見てアドバイスをし合いながら、こつを探しました。練習の際は、側方倒立回転につながる技の段階を表にしたワークシートを活用することで、自分がどの段階の技までできているのかを見極め、それぞれに適切な目標設定をすることができました。

それぞれのグループで発見したこつを全体で共有したことで、後半の「チャレンジタイム」では、より具体的に腕や脚を伸ばすということを意識して練習することができました。どのグループでも、友達を補助する姿や真剣に応援する姿、友達の技が成功すると拍手をして喜ぶ姿などが見られました。個々で立てた目標に応じて、一人一人が自分の力を高めることができました。